

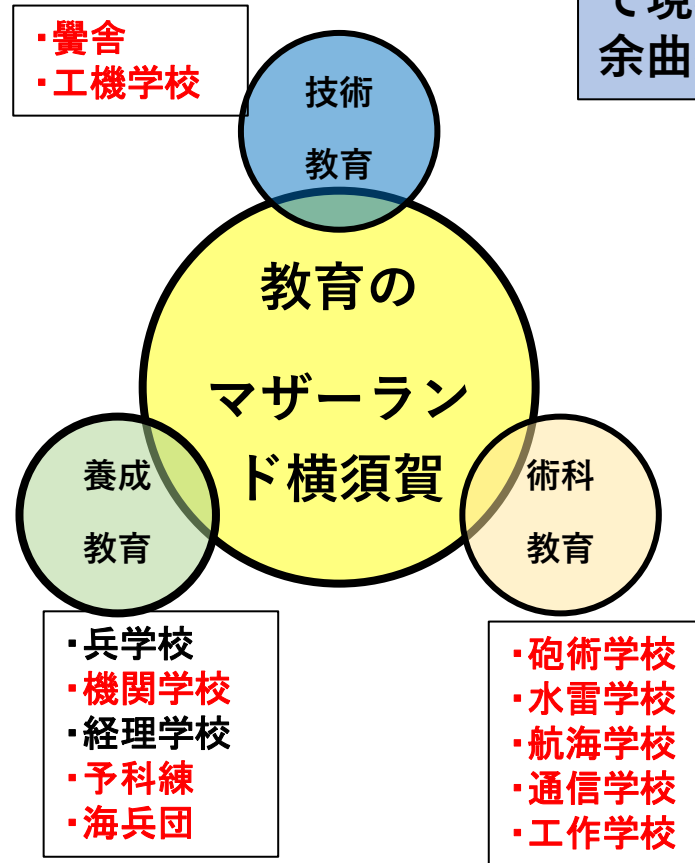
覺舎から始まった人材の育成

●若者に海軍そのものの素養を教育するために海軍兵学校・機関学校・経理学校が設立された。

●特に機関学校は横須賀造船所という現場に密着した教育が重視され、横須賀に設立された。

●しかし関東大震災の被害をうけ生徒部は京都舞鶴へと移転するが、高度の機関術の教育機関として工機学校は横須賀に残る。

●戦後自衛隊の素養教育は陸海空統合された防衛大学校で実施され横須賀（小原台）に所在し、すでに70年の歴史を刻もうとしている。

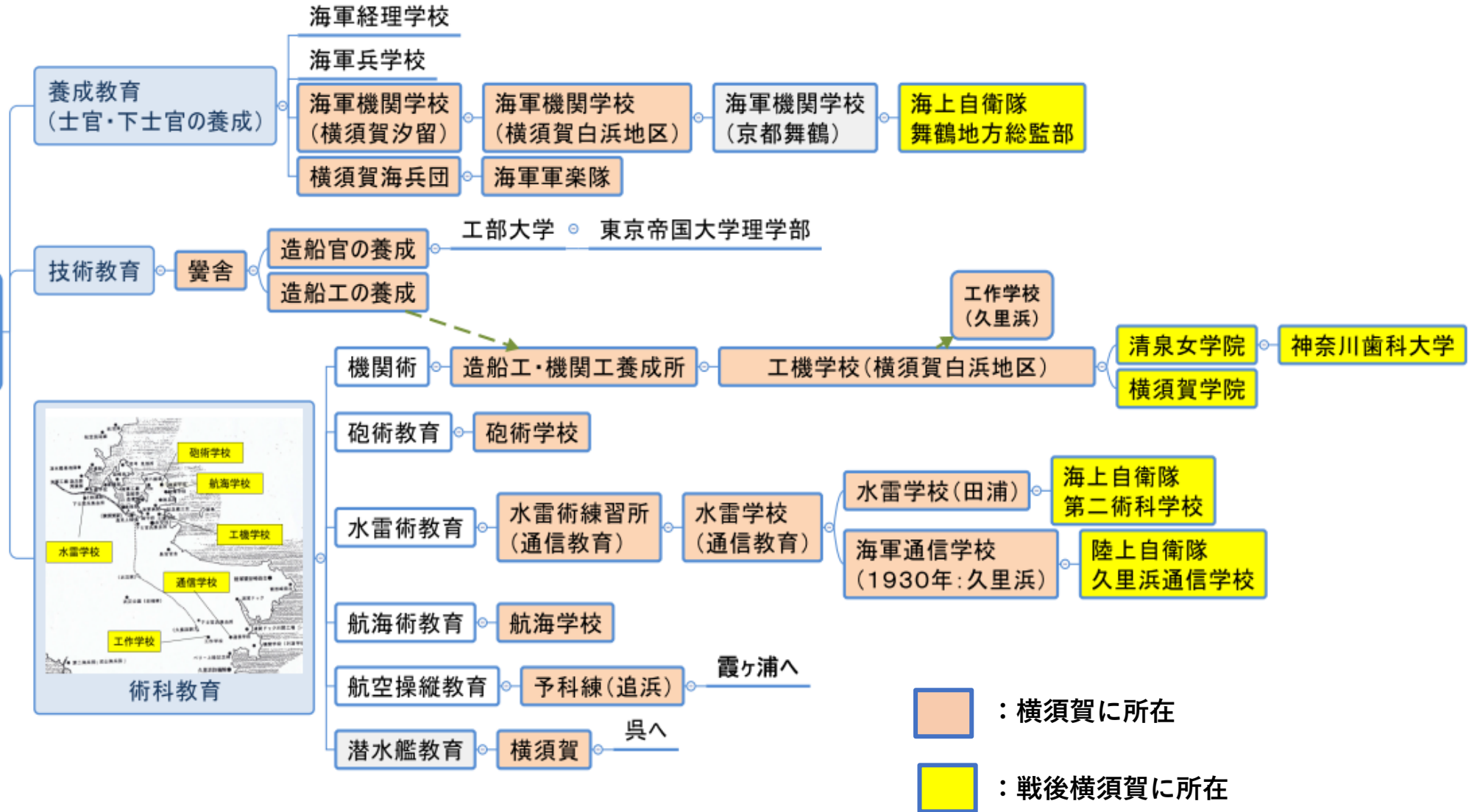


造船技術教育は覺舎（横須賀製鉄所内）から始まった。
その後造船官は帝国大学工学部へと、そして現場を支える造船・機関技術の教育は紆余曲折をへて工機学校へ

艦船の装備を運用、整備するための、士官・下士官への教育（術科教育）は日露戦争後から横須賀において本格的に始まった。
現在海上自衛隊の第1～第4術科学学校はその延長線にある。
機関術科を教える第2術科学学校は横須賀（田浦）にある。
なお第3術科学学校は航空機の整備術科等を担当している。

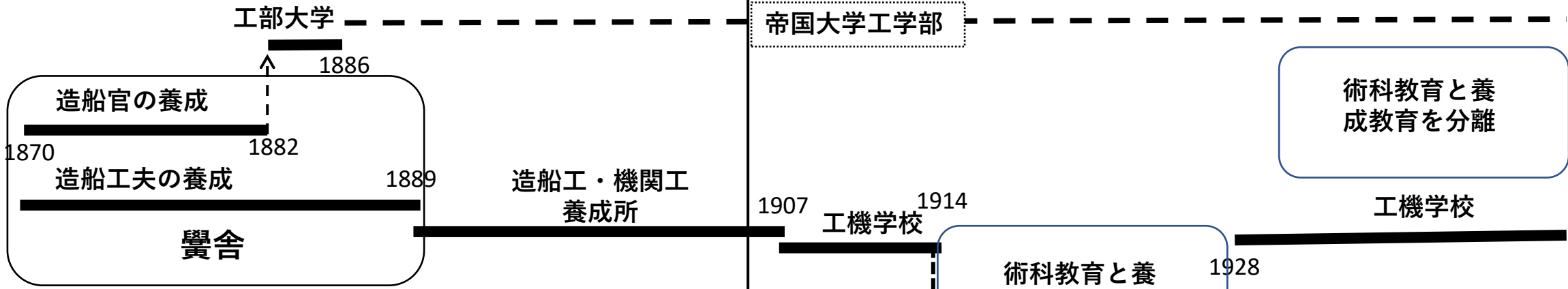
教育のマザーランド横須賀を概観する

教育のマザーランド 横須賀

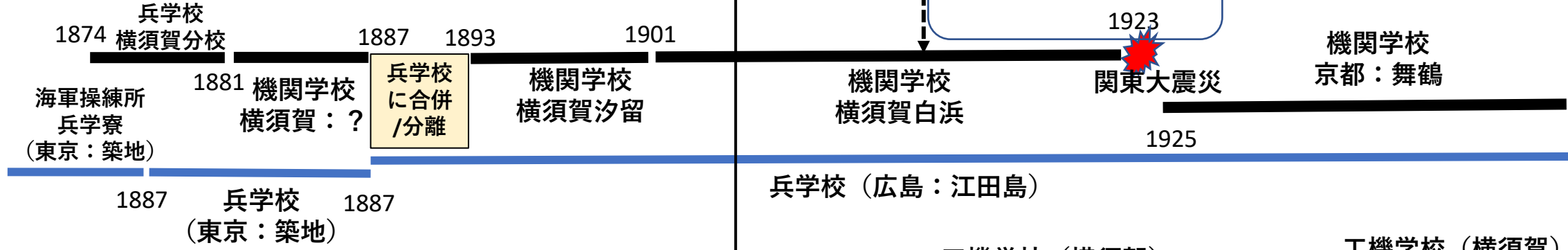


1870 1880 1890 1900 日本海海戦 1910 1920 1930 1940

技術教育



養成教育



術科教育

